



埼玉県の4店舗で医療資源のサーキュラーエコノミー実証を開始

～県内で回収したリサイクルが困難な廃棄物を医療用感染性廃棄物容器に再生～

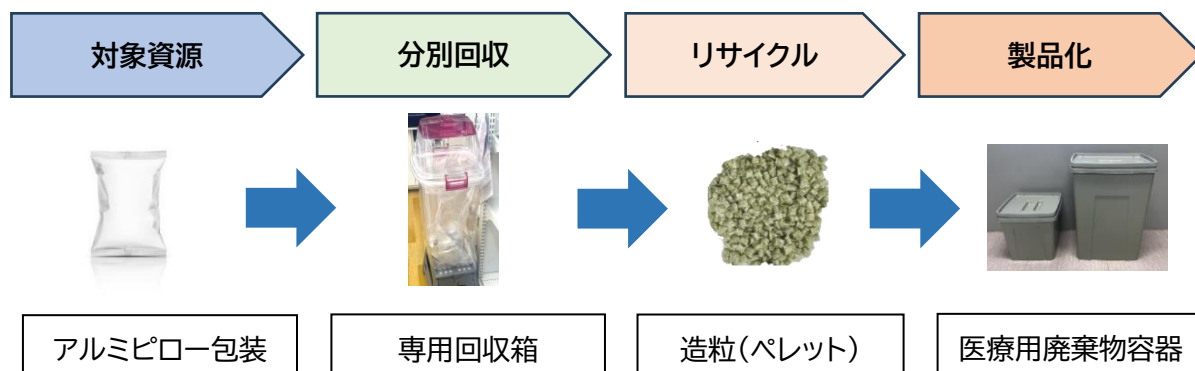
ウエルシア薬局株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:田中純一、以下 ウエルシア薬局)は、埼玉県およびイオン株式会社と連携し、県内の(越谷市内)4店舗で排出される医療用医薬品のアルミピロー包装(以下「アルミピロー包装」)を再利用し、医療用感染性廃棄物容器を製造する実証事業に参画します。

【実証事業の背景】

アルミピロー包装は、アルミと複数のプラスチックが複合された多層構造のため、通常のリサイクルプロセスでは分離が困難な「再生難素材」として処理されてきました。その結果、多くが有効活用されず、焼却や埋め立て処分されています。

一方、医療機関では感染管理の厳格さから、環境負荷低減に取り組みにくい側面もあります。医療用感染性廃棄物容器は、多くがバージンプラスチックで製造され、使用後は感染防止の観点からそのまま焼却処分されるのが一般的です。一度きりの使用にもかかわらず新たな資源の投入が続くことは「使い捨て」の現状を示しており、資源の有効活用という点で医療現場における課題のひとつです。

【実証事業の概要】



本実証では、アルミピロー包装のリサイクルを可能にする東和ケミカル株式会社の特許技術を活用します。まずは越谷市内の4店舗から発生するアルミピロー包装を回収し、これを原料として、医療現場で求められる厳しい品質基準を満たす感染性医療用廃棄物容器を開発します。

本実証は、単なるリサイクルに留まらず、将来的には医療機関・薬局から排出された廃棄物を、再び医療現場で活用される「クローズドループ(閉鎖循環型)」の実現を目指すものです。これにより、医療機関・薬局における環境負荷を大幅に低減し、持続可能な医療システム構築に貢献します。

(1)現場の負担軽減と効率的な回収システムを確立

有価物として取引するため、店頭での負担を最小限に抑えつつ、効率的かつ高品質な分別・保管方法を検討・検証します。これにより、安定的な再生原料の供給を目指します。

(2)高品質な再生容器の開発とコスト最適化の検証

回収したアルミピロー包装を再生プラスチック原料の一つとして活用し、循環素材100%の医療用感染性廃棄物容器の試作・製造を行います。その安全性、強度、耐久性といった品質面の検証を厳格に行うとともに、回収コストを含む全体的な経済性も検討し、医療用感染性廃棄物容器の実用化に向けた課題を洗い出します。

【実証期間(予定)】

2026年6月～11月

【実施店舗】

ウエルシア薬局 越谷大房店 ウエルシア薬局 越谷東大沢店
ウエルシア薬局 東越谷三丁目店 ウエルシア調剤薬局東越谷店

【連携事業者】

- ・埼玉県(サーキュラーエコノミー推進センター埼玉)
 主な役割:全体のコーディネート
- ・イオン株式会社、ウエルシア薬局株式会社
 主な役割:店頭で発生したアルミピロー包装の分別および提供
- ・東和ケミカル株式会社
 主な役割:アルミピロー包装を再利用した医療用感染性廃棄物容器の開発

【備考】

本実証事業は令和7年度サーキュラーデザインリーディングモデル構築支援補助金に採択された東和ケミカルが取り組むものです。この取り組みに対し、サーキュラーエコノミー推進センターがイオンとのマッチングを行い、事業の本格的な実用化に向けて推進しています。

ウエルシア薬局は今後も地域との連携を深めながら、資源回収の拡大につとめ、サーキュラーエコノミー推進および持続可能な社会の実現に向けていっそう貢献してまいります。

■ウエルシア薬局について

ウエルシア薬局は、企業理念「お客様の豊かな社会生活と健康な暮らしを提供します」のもと、主に調剤併設型ドラッグストアチェーンの運営を行っています。「調剤併設」「カウンセリング営業」「深夜営業」「介護」の4つの柱をビジネスモデルとしたドラッグストアを39都府県に約 2,200店舗展開しています。ウエルシア薬局 Web サイト:<https://www.welcia-yakkyoku.co.jp/>

【本件に関わる報道機関のお問い合わせ先】
ウエルシアホールディングス株式会社 秘書広報部
cc@welcia.co.jp